

目 次	
1. 学術情報ネットワークの運用停止について .....	1
2. ジョブ操作支援コマンド (MSO) の機能強化について .....	2
3. FCC (富士通ANSI規格準拠CコンパイラV11) の公開について ...	4
4. NVTユーザの機能追加について .....	6
5. NVTサーバの機能追加について .....	6
6. FNVTバージョン5の公開について .....	6
7. トーマス・マン・ファイルおよび ゲート・ファイルの検索講習会の開催について .....	12
8. 電子メール利用講習会の延期について .....	12

1. 学術情報ネットワークの運用停止について

学術情報ネットワーク機器の整備及び定期保守等のため、学術情報ネットワークによる大学間ネットワーク及びMHS電子メールサービスを下記のとおり停止します。

記

期 間 平成3年6月27日(木) 13:30~17:00

(ネットワーク掛 内線2543)

## 2. ジョブ操作支援コマンド (MSO) の機能強化について

6月17日(月)から、バッチジョブをメニュー形式で出力検索する標記コマンドの機能を強化しました。表記コマンドの主な機能は次のとおりです。(下線の部分が今回強化した機能です。)

- (1) フルスクリーン端末でバッチジョブの操作(状態表示・検索・消去・出力)がメニュー形式で行えます。これは、TTY型端末、あるいは、FNTV上で動作する仮想端末でも動作します。(ただし、TTY型端末の場合はPFDが動作するエミュレータが必要です。)
- (2) ジョブの状態は、以下の項目が表示されます。
  - ・ジョブ名およびジョブ番号
  - ・実行待ち(WAIT)、実行中(EXEC)、出力待ち(OUT)の表示
  - ・実行待ちの場合、実行待ちシステムID(汎用コンピュータ:M、スーパーコンピュータ:V)の表示、および、実行待ち数中の待ち順位の表示
  - ・実行中の場合、実行システムIDの表示
- (3) 実行結果は、SORPによる出力検索のほかに、PFDのBROWSEオプション、あるいは、PFDのEDITオプション風の検索も可能です。(なお、出力が大量にある場合には、検索できないことがあります。このような場合にはSORPによる出力検索を行ってください。)
- (4) ジョブが実行待ち/実行中でもPFDのBROWSE、EDIT風の検索オプション指定により検索ができます。これにより、実行結果の正当性チェックが早めに行えます。  
 なお、EDIT風の検索オプションで検索内容を編集しても実行結果が書き変わることはありません。
- (5) 出力クラス、または、OPR(ハードコピー)のプリンタ名を指定することで簡単にジョブの実行結果を出力できます。
- (6) 選択番号に99を指定することで一括キャンセル、または、一括出力することができます。
- (7) メニュー表示中にTSSコマンドが入力できます。ただし、FLIST/MLISTやRACF関連コマンド等は動作しないので注意してください。

### コマンドの入力形式

コマンド名	オペランド
MSO	なし

コマンドを実行すると次に示すような画面が表示されます。バッチジョブがない時は、何も表示されずに終了します。

```

-----< MSO V02/L02 >----- BY KYUSHU UNIV.
                                     91.06.05

      YOUR JOBS ARE AS FOLLOWS.

(NO.) (JOBNAME)      (STATUS) (RANK) (NO.) (JOBNAME)      (STATUS) (RANK)
  1  A79999A1 (J3362) OUT          ←(1)
  M 2  A79999AF (J3881) EXEC        ←(2)
  
```

```
V 3 A79999AH (J3883) EXEC          ←(3)
M 4 A79999AG (J3882) WAIT        3/9 ←(4)
V 5 A79999AK (J3884) WAIT        8/21 ←(5)
```

```
SEQ-NO. ==> (6)                      SORP-DSPRINT(PF5) DATASET
OPTION  ==> (7) < B,NB,E,NE,C >      ==> (9)
NEW CLASS ==> (8) < H,O,K,S,E,U OPR-NO >
TSS     ==> (10)
```

```
-----
PF1 ==> HELP PF2 ==> RE-FRESH PF3 ==> END ←(11)
```

#### 表示後の画面の説明

- (1) 出力待ちのジョブであることを示します。
- (2) 汎用コンピュータで実行中のジョブであることを示します。
- (3) スーパーコンピュータで実行中のジョブであることを示します。
- (4) 汎用コンピュータで実行待ちのジョブであることを示します。このとき、当ジョブのジョブクラスで実行待ちが9件中3番目に位置していることを示します。
- (5) スーパーコンピュータで実行待ちのジョブであることを示します。このとき、当ジョブのジョブクラスで実行待ちが21件中8番目に位置していることを示します。
- (6) 画面に表示されているジョブ一覧の番号を選択します。特に99を指定すると、次項(7)のCオプション、あるいは、(8)の項を指定した場合に限り、すべてのジョブが対象となります。ただし、1度選択したジョブ、および、実行待ちや実行中ジョブは対象となりません。
- (7) 出力検索時の環境を指定します。
  - 空白 ..... SORPコマンドによる出力検索を行います。
  - B ..... PFDのBROWSEオプション風の出力検索を行います。
  - NB ..... PFDの日本語BROWSEオプション風の出力検索を行います。
  - E ..... PFDのEDITオプション風の出力検索を行います。
  - NE ..... PFDの日本語EDITオプション風の出力検索を行います。
  - C ..... (6)で選択したジョブをキャンセルします。キャンセルされたジョブはシステムから消滅します。
- (8) ジョブの実行結果を出力する場合の出力クラス、あるいは、OPRのプリンタ名を指定します。
- (9) SORPコマンド実行時にページ抽出するデータセットを指定します。
- (10) TSSコマンドが入力できます。
- (11) PF1を押すとHELP画面が表示されます。PF2を押すとジョブの状態の再検索および画面の再出力を行います。PF3を押すとMSOコマンドは終了します。

#### 留意事項

1. TTY型端末でTSSPFDエミュレータを使用される方は最新のエミュレータ(センター広報Vol. 23, No. 6の解説記事)を使用してください。最新のエミュレータはセンター2階オープン室、または、オンラインアーカイブファイルのLIB.PDS(TSSPFD)にあります。
2. SORPコマンドの使用法については、MANUALコマンド(MANUAL SORP)により「SORPコマンド使用の手引」を出力して参照してください。

(システム管理掛 内線2518)

### 3. FCC (富士通ANSI規格準拠CコンパイラV11)の公開について

標記コンパイラを公開します。ANSI規格に準拠するとともに、従来のCコンパイラ(V10)の性能面の問題をほぼ解決したものです。

なお当面の間は従来のCコンパイラ(V10)と併行して運用します。RUNコマンドで起動されるのも当面は従来のCコンパイラです。

#### ■入力形式

コマンド名	オペランド
FCC	データセット名 [ {ASM [ (データセット名) ]   <u>NOASM</u> } ] [ {GO [ (xxK) [, yyK] ) ]   <u>NOGO</u> } ] [PINCLIB (データセット名 [, データセット名] ...) ] [DEFINE ( xx1 [=yy1] [, xx2 [=yy2] ...) ] [INLFUNC] [ {INLINE [ ( [func1] [, func2] ... [, 数字] ) ]   <u>NOINLINE</u> } ] [ {OPTIMIZE [ {B   E   F} ]   <u>NOOPTIMIZE</u> } ] [ {DBGINF   <u>NODBGINF</u> } ] [ {XREF   <u>NOXREF</u> } ]

- ・ [ {ASM [ (データセット名) ] | NOASM} ]  
アセンブラ出力をするかどうかの指定。
- ・ [ {GO [ (xxK) [, yyK] ) ] | NOGO} ]  
コンパイル, リンク, 実行をFCCコマンドのひとつのジョブステップで行うかどうかの指定。  
GOオプションの指定時, コンパイル, リンク, 実行を行う。  
xx... オブジェクトプログラムの大きさの指定 32~16000 (省略値128)。  
yy... ソースプログラム内のシンボルテーブルの大きさの指定 32~16000 (省略値32)。  
NOGO (省略値) オプションの場合はコンパイルのみを行う。
- ・ [PINCLIB (データセット名 [, データセット名] ...) ]  
私用のライブラリをデータセット名で指定する。
- ・ [DEFINE ( xx1 [=yy1] [, xx2 [=yy2] ...) ]  
#define xx1 (yy1)  
.  
.  
.  
と等価。
- ・ [INLFUNC]  
ライブラリ関数をインライン展開することを指定する。

- ・ [ {INLINE [ ( [func1] [, func2] ... [, 数字] ) ] | NOINLINE} ]  
インライン展開による最適化を行うことを指定する。インライン展開する関数名を指定することができる。また数字の場合実行文の数がそれ以下の場合インライン展開することを指定する。  
INLINEのみの指定はINLINE (30) と等価。
- ・ [ {OPTIMIZE [ {B|E|F} ] | NOOPTIMIZE} ]  
最適化をすることを指定する。  
B, E, Fの意味は次の通りである。

	副作用のない最適化	副作用の可能性のある最適化	インライン展開
B	○	×	×
E	○	○	×
F	○	○	○

- ・ [ {DBGINF | NODBGINF} ]  
デバック用の情報を出力するかどうかを指定する。
- ・ [ {XREF | NOXREF} ]  
クロスリファレンス情報を出力するかどうかを指定する。

その他のオプションについてはマニュアルをご覧ください。

#### ■ANSI規格との非互換について

システムの制限により、ANSI規格で定義されている関数のうちで、以下のものはサポートされていません。

getenv, remove, rewind, setbuf, setvbuf, tmpfile

#### ■日本語について

日本語コードはwchar\_t型として扱います。内部表現はJEF漢字コード（ただしシフトコードを取り除いたもの）、およびEBCDICコードの先頭に1バイトの0をつめた2バイトです。

日本語ライブラリを使うにはヘッダファイル jstdio, jctype, jstring, jstdlibをインクルードしなければなりません。詳細についてはマニュアルをご覧ください。

#### ■参考文献

- ・ C言語文法書 富士通(99SP-40501)
- ・ OSIV/MSP C言語メッセージ説明書 V11L10系用 富士通(79SP-5180-1)
- ・ OSIV/MSP C言語使用手引書 V11L10系用 富士通(79SP-5170-1)

(ライブラリ室 内線2508)

E-mail: e70019a@kyu-cc.cc.kyushu-u.ac.jp

#### 4. NVTユーザの機能追加について

6月17日(月)から、NVTユーザにFACOM端末クラスが機能追加されました。これにより、ODMなどのフルスクリーンアプリケーションがN-1ネットワーク経由で利用できるようになります。ただし、この機能は相手ホストがFACOMマシンでかつFACOM端末クラスをサポートしているNVTサーバであるときのみ利用できます。

NVT起動後、FACOM端末クラスに変更するには、

READY

@TC FTERM

FACOM端末クラスから基本端末クラスに変更するには、

READY

アテンション

NVT

@TC BASIC

(ネットワーク掛 内線2543)

#### 5. NVTサーバの機能追加について

6月17日(月)から、NVTサーバにFACOM端末クラスが機能追加されました。これにより、今まで利用できなかったODMなどのフルスクリーンアプリケーションが大学間ネットワーク(N-1)経由で利用できるようになります。ただし、この機能を利用するにはユーザ側にFNVTバージョン5あるいはFACOM端末クラス対応のNVTが必要です。

(ネットワーク掛 内線2543)

#### 6. FNVTバージョン5の公開について

6月17日(月)から、FNVTバージョン5を公開します。バージョン5では、バージョン4[1]に以下の機能が追加されています。

- ・自動走行スクリプト

FNVTコマンド投入後に入力したいコマンド列をデータセットに格納しておけば、起動時にこのデータセットを指定することで、コマンド列を自動的に実行することができます。

- ・端末入出力ログ

FNVTコマンドの起動から終了までの送受信データの履歴をデータセットにロギングすることができます。

- ・ FACOM 端末クラスのサポート  
ODM, ATLAS, PFD, ANALYST, CGMS などの全てのフルスクリーンアプリケーションおよびグラフィックアプリケーションが利用できます。
- ・ HITAC 端末クラスのサポート  
DESP, ASPEN などの全てのフルスクリーンアプリケーションが利用できます。
- ・ ACOS 端末クラスのサポート  
SEEDIT, NEDIT などの全てのフルスクリーンアプリケーションが利用できます。

## 1. 起動方法

コマンド	オペランド
FNVT	[?] [ホスト名 [, 端末クラス]] [< [自動走行スクリプトデータセット名]] [> (>>) [ログデータセット名]]

### オペランドの説明

- ? : FNVT コマンドのオペランドとその説明を表示します。
- ホスト名 : 接続先ホスト名を指定する。
- 端末クラス : 接続時の端末クラス (@TC サブコマンドのオペランド) を指定する。
- BASIC : 基本端末クラス (TTY 系非漢字端末) で接続。
- KANJI : 漢字端末クラス (TTY 系 JIS 83 漢字端末) で接続。
- GRAPH : 図形端末クラス (TTY 系テクトロ端末) で接続。
- FACOM : FACOM 端末クラス (F6680 系ディスプレイ端末) で接続。
- HITAC : HITAC 端末クラス (T560 系ディスプレイ端末) で接続。
- ACOS : ACOS 端末クラス (N6300 系ディスプレイ端末) で接続。
- 省略した場合は、使用端末により BASIC, または, KANJI が指定されたものと見なす。なお、端末クラスは接続後, @TC サブコマンドなどで変更できる。

### 自動走行スクリプトデータセット名 :

自動的に入力したいコマンド列を格納しているデータセット名を指定する。省略した場合は, FNVTRC.TEXT が指定されたものと見なす。なお, データセット属性は固定長, 可変長いづれでもかまいませんが, 必ず 行番号なし で作成して下さい。

### ログデータセット名 :

送受信データの履歴を格納するデータセット名を指定する。省略した場合は, FNVTLOG.TEXT が指定されたものと見なす。なお, 記号 > は上書き, >> は追加書きを意味する。

## 2. 使用例

- 1) 京都大学大型計算機センターに自動ログオンする。  
自動走行スクリプトデータセット (FNVTRC.TEXT) の内容

```

KYOYO          . . . . . ホスト名
A59999        . . . . . 利用者番号
XXXXXXXXX     . . . . . パスワード

```

READY

FNVT <

\*\*\* FNVT START VERSION(5.0) \*\*\*

ENTER HOST ID-

\*\*\* CONNECTED TO KYOTO \*\*\*

ENTER USER ID -

+PASSWORD ?=

```

:
:   LOGONメッセージ
:
#

```

2) 東北大学大型計算機センターの日本語フルスクリーンエディタNEDITを使う。

READY

FNVT TOHOKU, ACOS

\*\*\* FNVT START VERSION(5.0) \*\*\*

\*\*\* CONNECTED TO TOHOKU \*\*\*

ACOS-6/MVX2 TSS(R2.1) ON 06/10/91 AT 21:17:44 CHANNEL 6205 LU=\*SNVTTS

USER ID - \*\*\*

画面クリアのためリターンキー押下

ACOS-6/MVX2 TSS(R2.1) ON 06/10/91 AT 21:17:44 CHANNEL 6207 LU=\*SNVTTS

USER ID - A29999;A

PASSWORD--

XXXXXXXX

118 LLINKS, 0 LLINKS(BMC1), 0 LLINKS(BMC2) SPACE USED

SYSTEM ? NEDIT

日本語エディタ				パラメータ入力画面		06/10/91 21:17:53	
機能	= 1	テキストの型	= 1				
ファイル記述	=						
メンバ名	=						
オプション	= A						
レコード形式	= V	最大長 = 80	文字	行番号 = Y	世代管理 = N		
利用者メモ	=			バージョン名 =			
サブコマンド	=>			識別子 =		特殊文字 =	
*** パラメータ ***							
機能番号	----	テキストの型	----	オプション	----	レコード形式	----
1-SAME	( *SRC )	1-JIPS	10-FRT77	(SRCLIB)		1 / F - 固定長	
2-OLD	( TS SEQ )	2-FORTRAN	11-HPL	A/ASIS		2 / V - 可変長	
3-LIB	( TS SEQ )	3-CBL74	12-CBL85	M/MOVE[ , I, J, K, L ]			
4-EXTRACT	( LIB )	4-PL1		S/STRIP		最大レコード長	
5-SAVE	( TS SEQ )	5-BASIC		I/INSERT[ , M, N ]		NNN (501>NNN>0)	
6-RESAVE	( TS SEQ )	6-ALGOL		N/NORMAL[ (TAB) ]			



7-APPEND ( LIB )	7-PASCAL	RESE[ M,N]	一行番号指定有無
8-REPLACE ( LIB )	8-COBOLS		1 / Y - 有
9-NEW ( *SRC )	9-GMAP		2 / N - 無
10-DONE			
11-HELP (	その他の特殊指定		

NEDITの利用法はACOSマニュアルを参照して下さい。

3) 東京大学大型計算機センターのプログラム支援ツールDESPを使う。

READY

FNVT TOKYO, HITAC

\*\*\* FNVT START VERSION(5.0) \*\*\*

\*\*\* CONNECTED TO TOKYO \*\*\*

画面クリアのためリターンキー押下

JCS54012A ENTER LOGON

リターンキー押下

LOGON TSS0000

JET12012A ENTER USERID -

A39999

JET12026A ENTER PASSWORD FOR A39999 -

XXXXXXXX

JDT253I A39999 LAST EXECUTION DATE=91.06.10 TIME=21.01.21

JET10065I TSS A39999 STARTED TIME=21:02:45 DATE=91-06-10

\*\*\*\*\* 6 GATU NO 'SERVICE' KYUUSHI TOU NO OSHIRASE \*\*\*\*\*

\* 6/28(FRI) : 'SERVICE' KYUUSHI. (GETSUMATSU SHORI)

\* 6/29(SAT)-30(SUN) \* 'SERVICE' KYUUSHI. ('CENTER' SAGYOU)

\*\*\*\*\* 'BBS' WO GORAN KUDASAI. \*\*\*\*\*

WELCOME TO M880.

YOUR LAST ACCOUNT (USED:\$11389 BUDGET:\$100000)

>> DESP

DESP\*\*\*\*\*FUNCTIONS\*\*\*\*\*  
SELECT FUNCTION. [ ]

- P PARAMETER.....SPECIFY DESP PARAMETER.
- D DISPLAY.....DISPLAY SOURCE DATA, OUTPUT LISTINGS, ETC.
- E EDIT.....EDIT SOURCE DATA, TEST DATA, ETC.
- T TSS COMMAND...ENTER TSS COMMAND.
- U UTILITY.....PERFORM DATA SET OR LIBRARY UTILITY.
- L LIME UTILITY..PERFORM LIME UTILITY.
- F FOREGROUND...COMPILE, ASSEMBLE OR LINK EDIT.
- B BACKGROUND...COMPILE, ASSEMBLE OR LINK EDIT.
- Q QUIT.....TERMINATE DESP USING LIST AND LOG DEFAULT.
- N NIHONGO.....EDIT SOURCE DATA(NIHONGO USED), TEST DATA(NIHONGO USED), ETC.

IF YOU USE PRE-ENTERED DATA SET(S) TO EDIT OR DISPLAY, ENTER 'EG' , 'DG' , 'NG' , 'EG MEMBER-NAME' , 'DG MEMBER-NAME' OR 'NG MEMBER-NAME'  
PRE-ENTERED DESP STANDARD DATA SET(S) BELOW:

GROUP NAME ( A39999 )  
USER NAME ( A39999 ) ( ) ( ) ( )  
TYPE ( FORT77 )

DESPの利用法はHITACマニュアルを参照して下さい。

4) 他センターからFNVTバージョン5を利用し、九州大学大型計算機センターの日英自動翻訳システムATLAS IIを利用するため、ODMを起動する。

READY

FNVT KYUSHU, FACOM

\*\*\* FNVT START VERSION(5.0) \*\*\*

\*\*\* CONNECTED TO KYUSHU \*\*\*

ENTER USERID-

A79999A/XXXXXXXX

KDS40613I USER(A79999A) LAST ACCESS DATE(1991.06.10), TIME(20:35:32)

JOB NO = TSU6719 CN(01)

KEQ56455I A79999A LOGON IN PROGRESS AT 20:52:46 ON JUNE 10, 1991

KEQ56951I NO BROADCAST MESSAGES

READY

ODM

```
V10L40-----< 文書処理システム初期パネル >-----
処理選択 ==>                               パスワード ==>
                                           ユーザID- A79999A 時刻- 22:20
0 属性定義                               - 文書処理システムの属性の定義
1 文書作成                               - 新規文書の作成・編集
2 文書更新                               - 既存文書の更新
3 既存文書の処理                       - 文書の表示, 印刷, 削除, 複写, 移動, 結合, 翻訳,
                                          メール発信, 文書の取出し, 文書情報表示, 文書情報変更
4 メール受信                             - 受信メール(個人宛, メールボックス宛, 掲示板)の処理
5 その他の機能                           - 文書の登録, 文書情報一覧印刷, 発信簿処理, 受信簿処理,
                                          宛先リスト処理, 印刷依頼取消し, 受信状況確認
6 使用方法の説明                       - 文書処理システムの使用方法の説明
7 PFD                                    - PFDの呼び出し
8 新規ライブラリ                       - データセットが新規の場合選択
X 終了                                   - 文書処理システムの終了

      私有ライブラリ名 ==> 'A79999A.ODM.TEXT'

      'END' キーを押すことにより, 文書処理システムは終了する。
```

ATLASの利用法は広報、センターニュースを参照して下さい。

### 3. サーバホストと接続後の端末クラスの動的変更

#### 1) 接続先ホストがHITACマシンの場合

TTY系端末クラスからHITAC端末クラスへの変更は、

>> TERMINAL TERMTYPE(NVT25)

HITAC端末クラスからTTY系端末クラスへの変更は、

>> TERMINAL TERMTYPE(NVT21) . . . 基本端末クラス

>> TERMINAL TERMTYPE(NVT22) . . . 漢字端末クラス

#### 2) 接続先ホストがFACOMマシンの場合

TTY系端末クラスからFACOM端末クラスへの変更は、

READY

@TC FACOM

FACOM 端末クラスから TTY 系端末クラスへの変更は、

READY

PA3 キー押下 . . . . . 漢字端末クラス

3) 接続先ホストが ACOS マシンの場合

TTY 系端末クラスから ACOS 端末クラスへの変更は、

SYSTEM ? @TC ACOS

ACOS 端末クラスから TTY 系端末クラスへの変更は、

SYSTEM ? PA3 キー押下 . . . . . 漢字端末クラス

ただし、TSS セッションは継続できません。

### 注意事項

- 1) HITAC 端末クラス、ACOS 端末クラスでは、グラフィックアプリケーションは使えません。テクトロ 4014 をサポートしたグラフィックアプリケーションは図形端末クラスで利用できます。
- 2) 実端末がパソコン端末などの TTY 手順端末の場合は、FACOM 端末クラス、HITAC 端末クラス、ACOS 端末クラスは使えません。バージョン 6 でサポート予定です。
- 3) ACOS 端末クラスでは、日電と富士通のネットワークアーキテクチャの違いから、画面内の各行の行末の 1 文字は表示されません。

現在、ACOS 端末クラスで接続できるセンターは

東北大学大型計算機センター、

大阪大学大型計算機センター、

HITAC 端末クラスで接続できるセンターは

東京大学大型計算機センター、

FACOM 端末クラスで接続できるセンターは

九州大学大型計算機センターです。

### 参考文献.

1. 九州大学大型計算機センターニュース No. 402 FNVT バージョン 4 の公開について

(ネットワーク掛 内線 2543)

## 7. トーマス・マン・ファイルおよびゲーテ・ファイルの検索講習会の開催について

標記講習会を下記の要領で開催いたします。受講希望者は、共同利用掛（内線 2 5 3 2）にお申し込み下さい。

### 記

- ・日 時 7月11日（木） 10時～16時
- ・受付時間 9時30分～9時50分
- ・対 象 初心者
- ・募集人員 30名
- ・内 容 (1) テキストデータベース管理システムSIGMAの概説  
(2) トーマス・マン・ファイルおよびゲーテ・ファイルの検索の説明  
と実習
- ・会 場 大型計算機センター・多目的講習室（3階）
- ・講 師 九州大学 言語文化部 樋口 忠治, 九州大学 教養部 宮原 哲浩
- ・テキスト センターで用意
- ・時間割

10:00 12:00 13:30 16:00

SIGMAの概説と 検索法の説明	昼 休 み	実 習
---------------------	-------------	--------

- ・申し込み期間 7月1日（月）～6日（土）  
(なお、募集定員に達し次第締め切ります。)

## 8. 電子メール利用講習会の延期について

7月3日（水）に予定していました電子メール利用講習会を都合により延期します。変更後の期日は9月18日（水）の予定です。開催時期になりましたら、申し込み要領とともにセンターニュース等でお知らせします。

（ネットワーク室 内線 2 5 0 8）